

議会のニュース

討論

24年度宇都宮市一般会計予算などについて、次のとおり討論が行われた。

【平成24年度宇都宮市一般会計予算】

賛成 自由民主党議員会

7年ぶりのマイナス予算となったが、震災により改めて顕在化した「安全・安心なまちづくり」に優先的に取り組むとともに、市内経済の回復を確実にするため、限りある財源を効果的かつ効率的に活用し、直面する課題に積極的に対応した予算であると評価する。

特に投資的経費は、大変厳しい財政環境でも、前年度を上回る189億円を確保し、将来にわたる持続的な発展を支え、市内経済の活性化にも貢献するものであるため、市長の姿勢を高く評価し、原案に賛成する。

反対 日本共産党

災害への備えと防災のまちづくり、原発から自然・再生可能エネルギーへの転換とエコのまちづくり、命

と暮らしを守るという、3つの課題の実現には、予算配分を大きく変える必要があることから、原案に反対する。

反対 議会改革クラブ

街路樹、公園樹木の極端な剪定や、不必要な補助金の支出、選挙の投票票事務に従事する職員の高額な手当などについては認められないので、原案に反対する。

【その他の議案等】

反対 日本共産党

国民健康保険特別会計予算については、保険税を引き下げるべきであり、医療難民を生まない最大限の措置が取られていないことから、原案に反対する。また、介護保険特別会計予算については、低所得者への軽減対策や在宅医療・介護サービスの整備が不十分であることから、原案に反対する。

賛成 日本共産党

公的年金改悪に反対する意見書の提出を求める陳情については、年金額の引き下げは、高齢者の購入力を衰えさせ、地域経済に深刻な打撃を与え、景気をさら

に悪化させることが明らかのため、採択に賛成する。

意見書5件を議決

◆環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加に反対する意見書

環太平洋戦略的経済連携協定については、今後、国民への情報開示と説明責任を果たすとともに、国内農林水産業への影響についての検証や十分な措置がなされない中にあることは、交渉参加を行わないことを国に強く要望する。

◆地域公共交通の維持、再生、活性化の基盤となる交通基本法の早期制定を求める意見書

地域公共交通の維持、再生、活性化の基盤となる交通基本法を早期に制定するよう、国に強く要望する。

◆慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書

◆原子力発電から再生可能エネルギー推進への政策転換を求める意見書

◆公的年金の特例水準の解消に反対する意見書

陳情結果

※意見書は、衆参両院、国の関係機関に提出いたします。

議員提案で条例改正
宇都宮市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正
議長、副議長及び議員の議員報酬月額について、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間、8%減額する。
これは、東日本大震災の早期復興にかんがみ、議員提案により条例改正されたものです。
議会事務局総務課 電話 (632) 2604

【不採択】
◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情
◆東日本大震災で発生したのがれきの受け入れに関する要望書
市も震災により被害を受け、早期復興に向け取り組み、早期復興に向けて取り組み、被災地のがれきについては、全国の自治体の協力がなければ、この先十数年そのま

♪議場ジャズコンサートにお越しください♪
日時 6月11日(月)
開場 午前9時10分 開演 午前9時20分
会場 宇都宮市議会 議場 (議会棟6階傍聴席入口にて受付)
定員 120名(入場無料)
※申し込み不要。当日直接受付へ。
議会事務局総務課 電話 (632) 2611

▲昨年のコンサートの様子
▲議長(中央)、副議長(左)が、市長へ要望書を提出
処理なくして被災地の真の復興はあり得ない。
については、市民の理解を十分得るなどさまざまな課題解決に向け早急に検討し、可能な限りのがれきを受け入れていくよう、市長に要望書を提出した。